



## 地球温暖化

校長 五十嵐 圭一

この夏は、7月23日に熊谷市で41.1度という国内での観測史上第一位の高温を記録するなど、記録的な猛暑となりました。国連の専門機関の一つである世界気象機関(WMO)によれば、北極圏で30度、米国で50度を超えるなど、記録的な猛暑は日本だけでなく世界各地で広がっているようです。WMOは、西日本を襲った豪雨災害も含め、一連の異常気象は「温暖化ガスの増加による長期的な地球温暖化の傾向と関係している」と分析しています。



地球温暖化とは、気候変動の一部で、地球表面の気や海洋の平均温度が長期的に上昇する現象のことで、温室効果ガスなどの人為的要因や、太陽エネルギーの変化などの環境的要因によるものであると言われています。その対策の中で一番大きな課題が、二酸化炭素の排出量の削減です。私たちは、このことについて今まで以上に真剣に考え、誰にでもできる身近なことから対策を講じていかなければなりません。折しも、環境省から「2100年未来の天気予報」が発表されました。それによると、2100年、ある夏の日東京の気温は44度、台風10号の瞬間最大風速が90メートルなどと予想しています。地球温暖化については懐疑論もありますが、今年の夏は、未来の地球は本当に大丈夫なのかと考えさせられる暑い夏だったように思います。

ところでこの夏休み期間中、生徒たちは暑さに負けず、様々な場面で活躍する姿を見せてくれました。県大会柔道女子44kg級個人の部で、2年 Tさんがベスト8、県大会相撲個人の部では、3年 Iくんが準優勝、吹奏楽部は南部地区大会で銀賞となりました。市中学校英語弁論・暗唱大会では、1年 Hさん、Fさんがブロック大会暗唱の部を上位の成績で通過し、市中央大会に出場します。市美術部展では、3年 Yさん、Aさんが優秀賞を受賞しました。この他、代替わりで2年生が中心となった各運動部、文化祭や各種コンクール等に向け準備を進めている各文化部においても、熱心に活動する生徒たちの姿が見られました。

本日8月28日(火)から2学期がスタートしますが、学校では9月14日(金)の文化祭をはじめ、11月6日(火)の合唱祭(ソニックシティ大ホール)など様々な行事が行われます。これらの行事を通して、生徒たちが大きく成長してくれることを期待しています。

今学期も引き続き、教職員一丸となり、生徒、保護者、地域の皆様とともに学校教育を進めてまいりますので、ご理解、ご支援のほどよろしくお願いいたします。